

海と日本プロジェクト

おかやまビーチスポーツフェスティバル 2018 改善会議 議事録

◇日 時：平成 30 年 11 月 24 日

◇場 所：玉野産業振興ビル 3F グループ研修室

◇出席者：会長 三宅定子

副会長 松本岳史 藤原行輝

副理事長 梶本信治

理事 西岡晃

事務局長 藤木祐一

マネージャー 安原賢一

オリンピック誘致実行委員会 大田卓男

フィットネス 岡田博美

パラグライダー 三宅利夫 原健一

ヨガ 山本徳美 生本直也 青江幸子

ライフセービング 熊澤一彦

ビーチテニス 山本祐樹

OWS 木原珠子

トライアスロン 宗定敏文

海洋教育 齊藤和裕

監事 岡本章弘

参与 小幡堅一

オブザーバー 浜口誠（玉野市観光協会副会長） 藤原紀子（玉野市商王観光課）



(※ 改善内容のみをピックアップ・同意見を削除して記載しています。)

木原珠子：

OWS いつどこでどのようにするかの周知ができず、参加人数も乏しかった。安全管理が難しいため終始泳がず事は難しいが、短い距離のコースならもう少し午前中からでもできるのでは？と思った。また、競技説明ボードなどあっても良いかも。

うちのタイムスケジュールはマイクが来る時間なので、実際の各競技の開始時間とは異なる。あの時間に始まるものもあるが、朝から随時体験できる部門などその記載が必要かと。

熊澤一彦：

1. 岡田さんの MC にはもっと各ブーススタッフが協力してトークすべしかと。
2. 7月のフェスティバル開催のあり、実行委員会内で余裕を持った十分な打合わせができたかどうか分かりませんが、熊澤自身会議に出席できたのは1回のみで申し訳ないです。
3. 前日のビーチの清掃ご苦労様です。当日朝早くイノシシがゴミ捨て場を荒らしていたので清掃しておきました。イノシシは刺激物に弱いらしく、ゴミ捨て場周辺に BBQ の残りのコショウを振りまいておきました。結果はいかに？
4. どうも AED を使った心肺蘇生コーナーはイベントブースとしては印象が弱かった？アクティビティな要素ではないので集客の方法を考えねば、やはりニッパーボード出さなきゃダメかなあ～？
(子供用ライフジャケットあれば対応可能)
5. 当日朝の準備はスタッフ同士が協力しあって大変良しですが、MC に呼応して各ブースに来場者がまわるように協力しましょうという昨年のスタンスはどこへやら・・・一昨年の状況に逆戻り。来場者は結局、目的のイベントブースに長時間偏りがちなので、今回の SUP みたいに時間制にして、15分程度の入れ替え制でまわしては？そのほうがスタッフの集中力も保てますし、スタッフ自身がほかのブースを体験できるように調整できるはず。
6. 水着持参の来場者は少ない。
7. フラダンス、キッズダンスをもっと応援すべし。フラダンスは今回分かりやすい参加型で良かったです。
8. 結局アンケートはとりました？来年はウチワに盛り込むようにしますね。(6項目くらい？)
9. ポスターのイラストももっとにぎやかにします。やはり7月からPRしないとね。
10. 安全面を考慮すると子どもが海に入る間、自分たちの注意がそちらへ釘付けになるので、子どもたちの行動を見守るにはライフセーバー7人いても足りないかも。
11. 豪雨災害のあとですので水辺のレジャーに親しみにくい傾向にあるかと思いきや1900名の参加者データはウチワの集計からでしょうか？来年も7月のTSCのフェスティバルを開催するなら、スケジュールをよく考えて無理のないようにすればもっと広範囲にPRできるのでは？
12. 海洋博物館は子どもと女性に人気度高いと思います。次回はもっと期待できるはず。今回の〇×クイズはやさしかったですね。
13. メバル号もよかったです。イベント時間の合間でゆっくり本を読む時間がなくて残念でした。(スタッフなので当たり前ですが) ボールラグゼーションも参加したかった

14. パラアスリート・障がい者参加型に賛成！ユニバーサルデザイン、バリアフリー考えさせられます。
15. 熊澤の留守の間に SUP～トライアスロン～ライフセービングのブースの片付けが 15 時ごろ始まっていました。申し訳ありませんでした。

山本徳美：

反省・改善点として、

- ①ザップボードの知識不足で浮力が弱く男性や大柄な女性には向かないボードを購入してしまった。
- ②多くの参加者があったが写真撮り損ねた。（お手伝い頂いた郵便局さんに頼めば良かったです。）
- ③濡れたままの参加でマットが汚れてしまいました。濡れた方への対応を考えたい。
- ④スタンプラリー用のスタンプ回収が出来ていない。（どこにあるか心配です。）
- ⑤中学生・高校生の参加がほぼ無い。

良かった点

- ①60～70 代の参加が前年と比べ、とても多かった。
- ②多くの方に体験して健康作りのアドバイスが出来た。

岡田博美：

1. 毎年、打ち合わせがなかなかできていないので、アイデアや情報が乏しい。もっと、意見を交換したり、情報共有したり、準備をしっかりとできると、より良いイベントができると思います。
2. ポスターは、とても良かったと思います。地域の方にチラシやプログラムを前もって渡したかったです。
3. 全体的に、打ち合わせが少なかつたにも関わらず、4 回目となり、スムーズにイベントが流れたと思います。天気に恵まれたことが良かったです。1900 人来ていたのには、驚きました。今回の参加者は、ビーチスポーツを深く楽しみ興味を持ってもらえたと感じます。全体的に大成功だと思います。各部門のインストラクターの指導内容や参加者を楽しませるプログラムは、とても良かったです。
4. 開会式は、初めての司会で緊張しました。障害サーフィンの藤原さんと大吉君をゲストに招き、お話をしてもらえたことで、ビーチスポーツのこれからのやるべき課題や目標ができた。
5. マイクの調子が悪くて声が聞こえずらかった。
6. 図書館は、とても良かった。海を見ながらの読書は、いやしがあった。小さな子供からお年寄りまでもが楽しめる内容で良かった。図書館スタッフが松ぼっくりで針ネズミを子供たちと一緒に作っていたので、楽しそうだった。
7. ボールリラクゼーションは、大人気でした。肩こり腰痛などの凝りが楽になった。体が軽くなったと喜ばれた。子供たちは、気持ちがいいと喜んでくれた。ボールリラクゼーションスタッフの中にカイロプラティックの先生が来てくれたので、一人一人の身体のチェックと整体をしてくれて、良かった。来年もやりたい。
8. フラダンスとキッズダンスを私は、見れてとても感動しました。
ビーチで、踊る躍動的でエネルギッシュな子どもたちのダンスパフォーマンスは、生きる勇気をもたらせる。もっとたくさんの人に見てもらえるように、今後宣伝したい。
フラダンス体験会は、とても楽しかった。

9. 怪我人がなく、スタッフ全員が、それぞれの部門で、やるべきことをしっかりできて、参加者を楽しませることができたことがとても素晴らしかったです。準備から片付けまで、皆で協力してできたので早く片付けられた。

初めての司会進行をしてみて、司会の難しさが、良くわかりました。もっと勉強したいと思う。

藤木祐一

1. 1900 人も来ているのにびっくりした。毎年この時期にやっている効果徐徐に出てきているような気がした。宣伝を早くすればもっと来たんじゃないかと思う。
2. 打ち合わせしている競技とそうでない競技で情報共有が出来てないのでやっぱり早めに情報共有確認して準備に取りかかるようにした方がいいと思う。
3. テニスは時間を区切ってやったのが良かった！スタッフも上手く回せたと来るお客さんも待たせずできて良かった。体感的には去年よりも少なく感じたのでもっと増えたらスタッフがいると思う。各競技で終わる時間がバラついたのでスケジュール通りか早く終わるなら案内してもいいかもしれないと思った。
4. 個人的には TSC のイベントより人が来た事とサップヨガできて感動だった

原健一：

1. 自分の持ち場に張り付きっぱなしでしたので全体がほとんど見られなかった、次回は時間を区切って自分たちも他を見学・体験できる時間を少し作りたい。
2. スタッフ向けのスケジュール表や行動予定などのチラシが無かったので情報不足な感じがしました。LINEGrp には他スタッフは入っていないのでスタッフ向けの資料が欲しい、その中にやるべき事が記載されていれば手伝いもしやすい。
3. 来年 TSC のイベントも有るのでしょうか？ほぼ同じ様なイベントが連続するのは案外きつい、ワンパターン感も微妙 TSC は 2 日間ですしできれば統合・連結してもらえれば有難い。
4. ダンスは写真と遠目で見たのですが、場所が貧相に感じました、もう少しステージ感の出る場所設定か飾りなどあった方が良くかも。
5. 盛り上がるという欲が出てきますが何をやるにしても一番の問題はマンパワーですね、もっと直接かかわれる人を増やす努力が必要と思います。